

生活支援型事業と私たちの成長

本法人は本年6月27日に開催された通常総会で14年目を迎えることになりました。この間に、中間支援 NPO としての私たちの活動スタイルは茨城県北地域の実情に適応しながら、徐々に変化してきました。これは、地域の問題を発見し、解決しながら、NPO やボランティアを育てる with you スタイルから始まり、現在では、問題解決のためのプラットフォームづくりへと進展しています。私たちが行政や企業、教育機関、NPO などとともに、市民が活動しやすい土台を作り上げるというものです。

本年度の主要な事業は、第一に、いわき市の親子のメンタル支援である震災ボランティアの拡充と5年目に入るこの活動の課題の確認です。第二に、経済的理由により学習塾へ通うことのできない子どもたちへの学習支援事業です。いずれも、子どもたちと親が豊かな生活を形成するための基本的な力を整備する支援を行うためにプラットフォームを作るものです。この事業はまたこれを実践する市民や私たちにとっても豊かな生活を形成するための基本的な力を身に着けることにもなります。私たちはこれらの実践のなかで発生する問題を市民の皆さんとともに丁寧に解決しながら、支援される人も支援する人も共に成長できるよう事業を展開していきたいと考えています。

この生活支援事業の方向性は、ダイバーシティ（多様性）とワークライフバランスです。国籍、性、年齢、障がいにかかわらず、一人一人が自分の生を全うするために、仕事と生活を調整する。当然のことですが、この調整に一番困っている人こそ、ワークライフバランスの施策が必要です。私たちはそこに手が届くような生活支援を展開していこうと考えています。

このような時代の問題は地域の中に深く潜んでいます。私たちは、「世のために、人のために」に活動する市民の皆さんや支援される人とともに、成長していきたいと考えています。本年度もよろしくお願いいたします。



代表理事 安田 尚道

「2015年度 with you 第14回通常総会」を開催

本年度 with you の通常総会を平成 27 年 6 月 27 日(土)午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分まで、日立市社会福祉協議会 多目的ホールにて開催しました。正会員総数 26 名中、16 名(委任状が 1 名、書面表決 9 名を含む)が出席し、総会は成立しました。

《2014 年度事業報告》 昨年度、経済的な事情等で既存の学習塾に通うことのできない小学生、中学生、高校生を対象に、教育経験者や学生のボランティアによる学習サポート事業を開始しました。

公益財団法人 JKA「被災地域および被災者受入地域における高齢者、児童、障害者等を対象とした生活支援活動」助成事業では、いわき市内の幼稚園児と保護者等を対象として、放射能による親子ストレス軽減を支援するための遊び活動を主体とした支援を実施しました。常磐大学幼稚園、奥日立きららの里や国営ひたち海浜公園などで外遊びやゲームなどを開催し楽しんでいただきました。

かみね公園入り口花壇管理事業では、約 250 名程度のボランティアが活動し、来園者の目を楽しませようと素晴らしい花壇を作りました。

《2015 年度事業計画について》

- ・市民活動の支援…「かみね公園ボランティア花友」の花壇づくり活動をサポートします。
- ・市民農園事業…「ふれあい貸し農園 とまと倶楽部」の運営・管理を行います。
- ・豊かな市民社会の実現…市民、大学、企業、行政などの様々なセクターをつなぐことにより、協働の仕組みづくりを進めます。また、地域の課題解決に対し、市民、行政、企業の役割などについても考えていきます。
- ・社会の問題解決…ひとり親や恵まれない子どもたちのための学習支援「のびのび with you 塾」の充実を図ります。更に、病後時保育、一時預かり保育などの就労、子育て環境の仕組み作りに取り組みます。
- ・東日本大震災で被災した子どもと保護者の支援…原発事故による放射能問題で不安を抱えるいわき市内の子どもたちや保護者を招待し、外遊びや体験活動をするための事業を今年度も継続して実施します。
- ・委託事業…かみね公園入り口花壇管理事業の拡充を図ります。

生活貧困世帯の子どもに対する学習支援事業

2015年8月19日(水)

茨城県総合福祉会館において開催された「生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業フォーラム」にパネラーとして出席しました。



特定非営利活動法人さいたまユースサポートネット青砥代表による、「子どもの貧困の問題とさいたまユースサポートネットにおける学習支援事業の取り組み」についての基調講演がありました。

なぜ若者への学習支援が必要なのかということ、今の若者には困窮以外にも「親や家庭、学校」など様々な問題があり、そのような若者たちの居場所作りから始まったとのことです。

千葉県八千代市生活支援課の職員による「八千代市における学習支援事業の取り組み」について、事業立ち上げの経緯や、課題など具体的な事例を上げて、お話していただきました。

その後、NGO 未来の子どもネットワーク代表のかさいさんと、当方人代表の安田を交えて事業内容や、活動の中から見えてきた運営上の課題などについて話し合いを行いました。

公益財団法人JKA東日本大震災支援補助事業



今年度も3月までに計9回、様々なプロジェクトを企画実施していきます。

2015年7月4日(土)

常磐大学において、第1回子ども元気プロジェクト「段ボール de 迷路あそび!」を実施しました。

学生ボランティアと一緒に、段ボールにお絵かきをしたり、手作りの迷路で楽しく遊びました。

声楽の先生によるミニコンサートも行われ、子どもたちも楽しそうに耳を傾けていました。



段ボールにお絵かき



迷路あそび!

かみね公園入口花壇

今年は雨が多く、6月に植えた花苗が腐ってしまうというハプニングがありました。8月に再度植えなおし、無事に根付いています。みなさま、本当にお疲れさまでした。



かみね公園ボランティア花友

8月27日(木) ガーデニング講座を開催しました。

デュアルガーデンさんを講師にお招きして、参加者27名とともに、様々な種類の多肉植物を使った寄せ植えの基本とコツを学びました。今年、新しく入ったボランティアの方々と一緒に楽しんで作ることができました。



会員募集

- 正社員 個人 5,000円 団体 10,000円 学生 3,000円
 - 賛助会員 個人 1口 5,000円を1口以上
団体 1口 10,000円を1口以上
 - 情報会員 個人 3,000円 団体 5,000円
- ※詳細は事務所に問い合わせください

編集後記

はじめまして。編集を担当させていただくことになりました、大沢と申します。不慣れですが、精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、これからも宜しくお願い致します。【事務局】